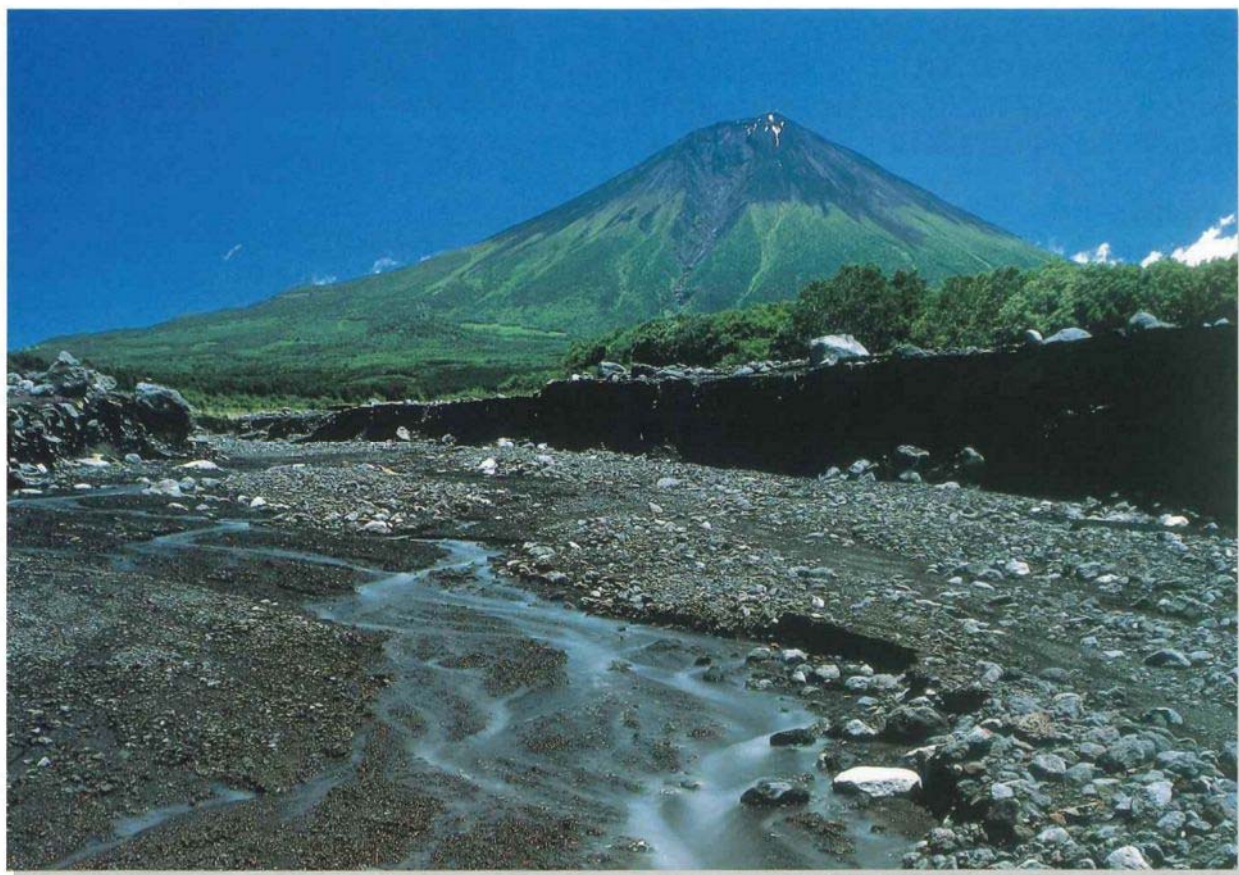


土砂防 だより



清流 (大沢川)

静岡県支部通常総会 2

静岡県の砂防100周年記念特集 3

土砂災害防止月間活動 4

- 「土砂災害に関する絵画・作文・ポスター」優秀作品の表彰
- 急傾斜バトロールの協働実施
- 「砂防フェスティバルしずおか」開催
- 「土砂災害防止推進の集い」全国大会

青木奈緒氏 取材・国際交流 9

わがまちの砂防 10
(西伊豆町・芝川町・御前崎町・磐田市)

砂防関係の主な行事 12

特集

第57回全国治水砂防協会
静岡県支部総会

静岡の砂防100周年記念

H14土砂災害防止月間活動

2002年は静岡の砂防100周年

全国治水砂防協会
静岡県支部

静岡県支部通常総会を開催

5月31日に、全国治水砂防協会静岡県支部の平成14年度（第57回）通常総会が、静岡市内のグランドホテル中島屋で開催されました。

総会は、副支部長の原田英之袋井市長の挨拶にはじまり、近藤国土交通省砂防計画課長、鈴木雅近静岡県副知事、森竹治郎静岡県議会議長、全国治水砂防協会理事斉藤斗志二衆議院議員、大久保全国治水砂防協会理事長より御祝辞をいただきました。

この後、議案の審議が行われ、平成13年度事業報告・収支決算報告、平成14年度の事業計画・収支予算等が承認されました。

総会終了後、近藤砂防計画課長より「最近の土砂災害に関する取組について」、またNHK静岡放送局松坂ニュースデスクより「NHKの災害報道について」講演をいただきました。



原田英之副支部長（袋井市長）の挨拶



近藤砂防計画課長による講演



NHK 静岡放送局松坂ニュースデスクによる講演

〔平成14年度事業計画の概要〕

1 砂防関係事業の周知・啓発・普及

- ①国・県の実施する事業への協力
 - 静岡の砂防100周年記念事業への協力
- ②会員による先進地視察の研修実施
 - 雲仙普賢岳噴火災害現場と復興状況視察
- ③砂防関係担当職員に対する研修会の開催
 - 市町村等砂防担当職員研修会の開催
 - 土砂災害防止法講習会の開催
- ④他機関の実施する講習会等への参加

2 砂防事業等促進要望の実施

3 「砂防だより」や砂防関係図書の発行

4 全国治水砂防協会等への協力

の4項目を主要事業として計画しています。

全国治水砂防協会通常総会開催される

5月22日に、(社)全国治水砂防協会の平成14年度（第65回）通常総会が、砂防会館（東京都）で開催されました。

当日は、竹山裕参議院議員をはじめ多くの国会議員が来賓として出席されました。当支部からは会計監査役の櫻井河津町長をはじめ23名の会員に御出席をいただきました。

議事では、平成13年度事業報告・収支決算報告、平成14年度事業計画・収支予算が承認されました。

出席市町村：河津町、修善寺町、大仁町、天城湯ヶ島町、中伊豆町、小山町、富士宮市、由比町、島田市、川根町、中川根町、御前崎町、相良町、袋井市、浜岡町、森町、浅羽町、天竜市、春野町、龍山村、佐久間町、水窪町、引佐町



インターネットによる土砂災害危険箇所情報の提供

静岡県の土砂災害危険箇所情報を提供します。

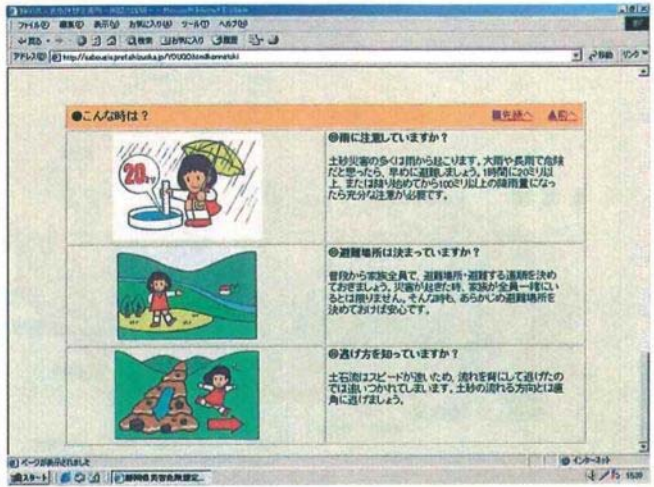
インターネットを利用して、身近にある土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害危険箇所の位置を確認し、土砂災害による被害の防止に役立てることができます。

土砂災害危険箇所情報(砂防GIS)

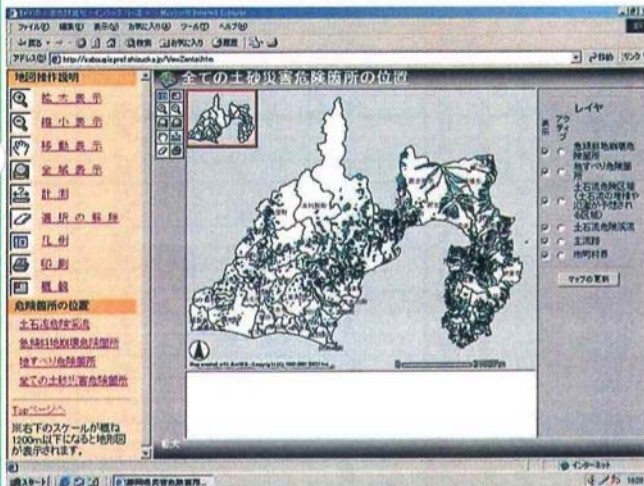
土砂災害危険箇所情報トップページ



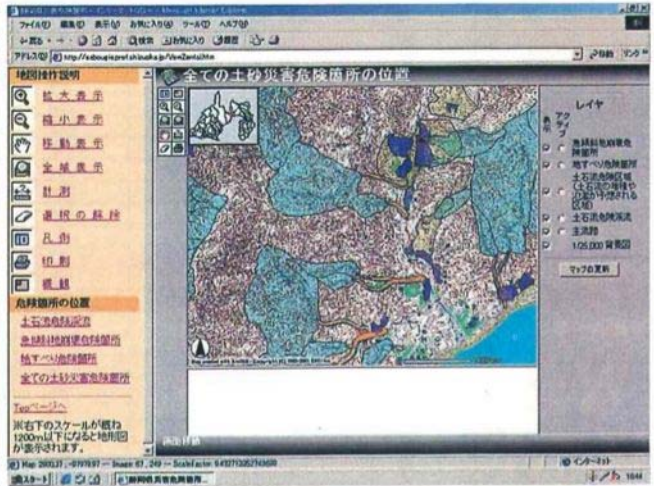
土砂災害に関する注意事項



土砂災害危険箇所全県図



土砂災害危険箇所図



『静岡県土木部ホームページ』

<http://www.pref.shizuoka.jp/doboku/doboku1.html> 上の

『[あなたの周辺にひびく](#)』 をクリックするか、

[土砂災害危険箇所](#)

『砂防GIS』

<http://sabougis.pref.shizuoka.jp/> をご覧ください。



目で見てわかる

あなたのまちの土砂災害危険箇所

●土砂災害危険箇所数と保全対象人家戸数

区分	危険箇所数				静岡県における保全対象人家戸数
	全国	静岡県	全国順位	全国比	
土石流危険渓流	79,318渓流	1,932渓流	16位	2.4%	24,946戸
地すべり危険箇所	11,288箇所	183箇所	22位	1.6%	6,773戸
急傾斜地崩壊危険箇所	86,651箇所	3,046箇所	7位	3.5%	45,687戸
合計	177,257箇所	5,161箇所		3.0%	77,406戸

- 土石流危険渓流
- 地すべり危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所



静岡県の土砂災害危険箇所

(平成14年3月現在)

■市町村別土砂災害危険箇所

土木事務所名	市町村名	土石流危険渓流	地すべり危険箇所	急傾斜地崩壊危険箇所	合計
下田土木	下田市	76		132	208
	東伊豆町	17	6	38	61
	河津町	46	5	40	91
	南伊豆町	55	1	137	193
	松崎町	40	1	69	110
	西伊豆町	36	1	39	76
	賀茂村	13		20	33
小計	283	14	475	772	
熱海土木	熱海市	41	1	100	142
	伊東市	34	2	58	94
	小計	75	3	158	236
沼津土木	沼津市	60		100	160
	三島市	9		42	51
	御殿場市	15		2	17
	裾野市	20		26	46
	伊豆長岡町	16	1	29	46
	修善寺町	73	3	41	117
	戸田村	23		17	40
	土肥町	21	1	31	53
	函南町	13	1	13	27
	菰山町	13		21	34
	大仁町	13		17	30
	天城湯ヶ島町	89	2	10	101
	中伊豆町	69	2	7	78
	清水町	2		6	8
小計	467	10	411	888	
富士土木	富士宮市	10		35	45
	富士市	17		28	45
	芝川町	31	1	46	78
	小計	58	1	109	168
静岡土木	静岡市	292	4	407	703
	清水市	185	1	190	376
	富士川町	19	1	20	40
	蒲原町	11		12	23
	由比町	17	6	21	44
	小計	524	12	650	1,186
島田土木	島田市	54	9	84	147
	焼津市	20	1	24	45
	藤枝市	40	26	96	162
	岡部町	48	1	41	90
	大井川町				

土木事務所名	市町村名	土石流危険渓流	地すべり危険箇所	急傾斜地崩壊危険箇所	合計
島田土木	金谷町	19	4	25	48
	川根町	21	13	21	55
	中川根町	15		14	29
	本川根町	4		12	16
小計	221	54	317	592	
御前崎土木	御前崎町			9	9
	相良町	10	2	20	32
	榛原町	7		30	37
小計	17	2	63	82	
袋井土木	磐田市	2		19	21
	掛川市	23	11	30	64
	袋井市	7		32	39
	大須賀町	9		10	19
	浜岡町	2		24	26
	小笠町	5		34	39
	菊川町	3		45	48
	大東町			36	36
	森町	22	5	20	47
	浅羽町				
	福田町				
豊田町			6	6	
豊岡村	9		8	17	
小計	82	16	264	362	
天竜土木	天竜市	53	7	123	183
	春野町	33	13	47	93
	龍山村	4	6	28	38
	佐久間町	30	16	83	129
	水窪町	24	24	36	84
小計	144	66	317	527	
浜松土木	浜松市	11		175	186
	浜北市		1	2	3
	湖西市	1		24	25
	舞阪町				
	新居町	1		13	14
	雄踏町			1	1
小計	細江町	10		33	43
	引佐町	29	4	22	55
	三ヶ日町	9		12	21
	小計	61	5	282	348
	合計	1,932	183	3,046	5,161

(平成14年3月現在)

静岡の砂防100周年記念特集

■ 仙俣川の砂防事業（静岡の砂防工事第1号）

明治34年に安倍郡玉川村奥仙俣（現在の静岡市）が「砂防指定地」に指定され、翌35年に県内で初めて砂防工事を実施されました。

明治35年の工事では直接的に土砂流出を防ぐ山腹工を主体に、石積護岸工などが建設されました。石積堰堤は明治42年から建設され、さらに周辺の山腹工や水路工の建設など大正7年まで砂防工事が行われました。

仙俣川には明治42年から建設された1号堰堤（一部のみ現存）をはじめ数多くの石積堰堤が残っています。



石碑の内容



石積砂防堰堤



1号石積堰堤脇にある石碑

■ 木和田川砂防流路工が有形文化財に登録

5月17日に開催された文化審議会で、「木和田川砂防流路工」が登録有形文化財に答申されました。この流路工は、明治43年8月の豪雨災害を受け、大正元年頃に築かれたもので、1号（延長70m）、2号（延長15m）ともに台形の断面を持つ三面張り石積み構造で、特に1号は残存状態が良好であり、周囲の自然景観に良く馴染んでいます。平成14年3月には砂防堰堤群8基が答申されていることから、今回の答申で木和田川砂防施設全体が登録文化財として保全、活用されることとなりました。

県では、砂防施設周辺を「砂防学習ゾーン」として整備を行い、訪れる人々に憩いと安らぎの場を提供しており、多くの人々に利用されています。



木和田川1号流路工

● 100周年記念行事の予定 ●

- 8月20日(火)** 半済(菊川町) 地すべり現場見学会 <袋井土木事務所 ☎0538-42-3216>
21日(水) 口坂本(静岡市) 砂防現場見学会 <静岡土木事務所 ☎054-286-9321>
 (県民の日) 木和田川(岡部町) 砂防現場見学会 <島田土木事務所 ☎0547-37-5272>

※問い合わせ・参加申込は各土木事務所企画検査課まで

- 11月1日(金)** 静岡の砂防100周年記念式典・記念碑除幕式
 砂防事業100周年を記念した式典の開催、絵画・作文・写真等コンクールの表彰、記念碑の除幕、記念講演会を開催します。

特集

平成14年度

6月1日～6月30日

土砂災害防止月間活動

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命・財産が失われています。そこで、国土交通省と静岡県では、梅雨時で雨量が多く地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすい6月を「土砂災害防止月間」として、土砂災害に関する防災知識の普及と警戒避難体制の整備を促進するため、様々な行事を実施しました。

1 「土砂災害に関する絵画・ポスター・作文」優秀作品の表彰

平成13年度に県内の小中学生の皆さんから「土砂災害に関する絵画・ポスター・作文」を募集したところ、31校70作品の応募がありました。多数の応募ありがとうございました。

応募作品のうち6作品が特に優秀と認められたため、6月23日の「砂防フェスティバルしずおか」の会場（静岡市青葉公園）で行われた表彰式において、入賞者の方々に境国土交通省静岡河川工事事務所長、久保田静岡県土木部技監から表彰状と記念品が授与されました。



受賞者の皆さん

賞	作品	氏名	学校名	学年
国土交通事務次官賞	作文	飯田 梨奈	富士市立元吉原中学校	2年
国土交通省砂防部長賞	ポスター	若林 啓子	島田市立島田第一中学校	3年
静岡県知事賞	ポスター	吉野 彰兼	藤枝市立高洲小学校	5年
静岡県土木部長賞	作文	本多 優美	富士宮市立山宮小学校	2年
全国治水砂防協会 静岡県支部長賞	ポスター	太田 博巴	細江町立細江中学校	2年
	絵画	大原 義泰	静岡市立西豊田小学校	1年

※学校・学年は応募当時のもの



国土交通省砂防部長賞
【ポスター】

わかばやしけいこ
若林啓子さん
〈島田市立島田第一中学校3年〉



静岡県知事賞
【ポスター】

よしの 彰きのり
吉野 彰兼さん
〈藤枝市立高洲小学校5年〉



全国治水砂防協会
静岡県支部長賞
【ポスター】

おたひろほ
太田博巴さん
〈細江町立細江中学校2年〉



全国治水砂防協会
静岡県支部長賞
【絵画】

おおはらよしやす
大原義泰さん
〈静岡市立西豊田小学校1年〉

◆国土交通事務次官賞 【作文】

「私達の富士山を守りたい」

飯田梨奈さん（富士市立元吉原中学校2年）

8月21日、台風11号が2年ぶりに本土に上陸。ニュースでは、災害への嚴重な警戒を呼び掛けていました。風雨が激しさを増し、夜になると恐ろしくて母と一緒に寝ました。しかし、母が「ここは山など、危険な所が近くにないから土砂災害もないし、安心だよ。」と言ったので、少し安心しました。でも、その時母が、「山といえば、富士山が崩れてきていることを、知っていた。」と聞いてきました。私は、恥ずかしいことにその事実をまったく知りませんでした。富士山のふもとに住んでいる私は、学校の登下校時（雨あがりの青空が、富士山には似あうな。）など思いながら歩きます。きれいな富士山が見える日は、朝から得した気分になります。そんな富士山が崩れてきていると聞き、びっくりしました。台風が通過した後、心配になって富士山の西側の方へ見に行ってきました。大沢崩れの方面です。台風などの大雨による被害も大きいのではないかと思います。私のいつも見ている、たくましくやさしい富士山ではない、まったく違う富士山が、そこにありました。激しく削られている痛ましい富士山は、とてもいつも見ているきれいで雄大な富士山ではない。それが、あの富士山を見た時の第一印象です。富士山を守りたいと強く思いました。

調べてみてわかったのですが、昨年11月に大沢川と竹沢川で土石流が発生し、大沢川では近年10年間で4回の大規模な土石流があいついで発生しているそうです。大沢川において、あらたに流入した土石流堆積土砂を遊砂地から取り除く除石工事を行っています。その土砂は、富士海岸の侵食対策事業など公共工事に有効活用されています。私はこの事を知りおどろきました。私の住んでいる所は、海のすぐ近くです。海岸の浸食を防ぐためテトラポットや土砂などがうめられていたのは知っていましたが、その一部が富士山の堆積土砂とは知りませんでした。砂防工事の方々は、毎日自然と戦いながら、災害にならないよう自然を守るため、がんばってくれています。

富士山の豊かな自然は、貴重な動物が数多く生息する野生の楽園でもあるそうです。うさぎや野りす、ミヤカラスアゲハなどがいるそうです。見た事のない生き物ばかりだけれど、きっと美しいと思います。だからこそ、この生き

物達が生きていける環境を守っていかねばいけないと思いました。

砂防工事事務所では、昨年から砂防樹林帯を育成するためにサイクルポット大作戦として、地元の小中学校の生徒がボランティアで、広葉樹の苗木を植樹しているそうです。中学校の皆でやれるよう、勇気をだして皆に働きかけたいと思います。植樹は、私が小学校6年生の頃、全国植樹祭という行事に参加することができたので、木を植えることができました。植えたばかりの時は小さな苗ですが、いつか大きな立派な木になる事を願って植えました。その時、私は木ってすばらしいと感じました。これから、もっとも木を増やして、森に住む動物達が、安全でくらるようになったらいいなと思いました。それは、私たちの安全にもつながり、美しい富士山を守ることになるのです。そのためにも、今生きている人達全員が、森林について考えていくべきだと思います。

富士山はいろいろな人達に守られているのだと思いました。それでも自然の力は大きいのです。平成12年には全国で土砂災害が608件発生しているそうです。自然災害から、身を守るの一人一人が自分の命を守るため知恵を身につけることが大事だそうです。土砂災害は、一気にくるので死ととなりあわせです。大事な人や物をなくさないためにも、避難場所を決めておくことが大事だと思いました。これから、防災訓練も気持ちを入れてしっかりやろうと思います。

幸い台風11号による被害は、私たちの地域には目に見えてありませんでした。でも、台風による各地の土砂災害のようすは、改めて自然の力の大きさと、被害の悲惨さを語ってくれています。日本は台風の通り道です。梅雨もあるし、雪解けによる雪崩や地すべりもあります。被害を最小限度にくいとめるために、危険に対して敏感でありたいとつくづく思います。長い歴史の中で、富士山が崩れていっているのしかたがない一面もあるでしょうが、少しでも美しさを長く保ち、崩れるのを少しでも防ぐために、努力してくれている人達がいることを私は忘れず、私にできる作業に参加していきたいと思います。

◆静岡県土木部長賞 【作文】

「大さわせんじょう地に行ったよ」

本多優美さん（富士宮市立山宮小学校2年）

わたしは、8月23日に、おかあさんと大さわせんじょう地クイズウォークに行きました。富士山には大さわくずれとあって、今でもくずれているところがあるそうです。クイズウォークに行ったせんじょう地は、ちょう上のほうからくずれてきた土や石やすながたまっているところでした。とっても広くて車もおれなくて、木もはえてないところでした。

クイズをしながら、大さわせんじょう地がなぜなきやいけないか教えてもらいました。すなをはこびだすための大きなショベルカーにのせてもらいました。きょ年の11月21日に、大きな土石りゅうがおこったときのビデオを見ました。こんなに大きな岩がながれてきたら、おうちがつぶれて町もつぶれてしまいます。この大さわせんじょう地のさぼうしせつがあったから、おうちがこわれなくて町もつぶれなかったそうです。こんなことがあったなんてしりません

でした。

森の中をあるいて、いろいろな木やふしぎなきのこをみつけました。大雨がふって土石りゅうがおこるとこの森もなくなってしまいます。クイズのもんだいに、なんのためにさぼうしせつを作るのかというもんだいが出ました。土石りゅうから家やはたけなどをまもるためです。わたしたちにとって、とっても大切なものだと思います。それから、リサイクルポットの話を知りました。学校でも作ったけどちょっとむずかしかったです。でも、わたしがうえた木がやくだっていることを知ってうれしくなりました。そして、さぼうしせつがとってもやくにたっていることがわかりました。

台風のつぎの日だったので岩がころがってちょっとあるきにくかったけど、いろいろなことをたくさん教えてもらって楽しかったです。来年もまた行きたいです。

～住民と砂防ボランティアの参加～

2 急傾斜パトロールの協働実施

急傾斜地崩壊危険区域として指定された区域は県下に916箇所あります。県では6月3日から20日までの間に土木事務所、行政センター、市町村、消防署及び地域住民や砂防ボランティアと協働（延べ813人動員）して、崩壊防止施設の異常、斜面の崩壊・亀裂の有無、排水路の埋塞などの防災点検を実施しました。

また、同時期に実施された治山・農地パトロールとも連携し、土砂災害の未然防止に向けた県下一斉の点検を実施することができました。

急傾斜パトロールにより施設の損傷や小規模の崩壊が確認された箇所については、今後、早急に改善措置をとってまいります。



静岡市 北沼上田ヶ谷急傾斜地をパトロールする職員や砂防ボランティア

～竹とんぼを作ろう～

県民約8,000人が訪れる!!

3 「砂防フェスティバルしずおか」開催

土砂災害の恐ろしさや砂防事業を県民の皆さんに知っていただくために、6月23日(日)青葉公園にて「砂防フェスティバルしずおか」が開催しました。

国土交通省静岡河川工事事務所、沼津工事事務所、富士砂防工事事務所、静岡県、静岡市のパネルや模型のほかに、クイズラリー、土砂災害に関する絵画・ポスターの展示、土石流模型実験のほか、SBSラジオ「@THE MUSIC MARKET」の公開生放送も行われました。



竹とんぼづくりに興味津々



県からは、静岡市・清水市都市山麓グリーンベルト整備事業のモデル地区で伐採した竹を使った竹細工教室や静岡の砂防100周年特設コーナーなどを設け、普段、砂防に接することの少ない県民の方々にも土砂災害に関心を持っていただきました。

平成14年度土砂災害防止啓発用品等の紹介コーナー



懸垂幕



マグネットシート

〈啓発グッズ〉



マスコット



ティッシュ



パンソウコウ

【テーマ】“知らせる努力と知る努力”

4 「土砂災害防止推進の集い」全国大会開かれる

6月6日に、平成14年度「土砂災害防止推進の集い」全国大会が、全国から約2,100人が参加して、岐阜市長良川国際会議場で開催されました。

大会では参加型シンポジウムが開かれ、出席者全員による土砂災害に関するアンケート集計や、被災者の体験談、衛星と光ケーブルによる中継が行われました。

また、「砂防ボランティア全国をつどい」、「砂防関係工事現場代理人の会総会」も同会場で開催され、静岡県ボランティア協会からも2名が参加して、土砂災害を防ぐ様々な取り組みについての活動報告・情報交換が行われました。

翌日には現地研修会が行われ、岐阜県内にある鷺巣第一砂防堰堤、市之倉おりべ砂防堰堤、根尾村地震断層観察館などを見学しました。



参加型シンポジウム

岡部町の「横添ふるさと会」が土砂災害防止功労者に



表彰を受ける横添ふるさと会メンバー

6月6日に、岐阜市で行われた平成14年度「土砂災害防止推進の集い」全国大会において、全国から5団体が土砂災害防止功労者の表彰を国土交通大臣から受けました。

静岡県からは横添ふるさと会（岡部町）が表彰されました。横添ふるさと会（平成5年3月発足）は、木和田川の空石積砂防堰堤の保存と周辺整備の計画立案を行政と協働して行うとともに、美化清掃、維持管理、砂防工事記録の収集や資料展示など幅広い活動を行っており、地域の歴史文化の保存・伝承に大きな功績を挙げています。

表彰式では、横添ふるさと会の功績について説明された後、岡本国土交通省砂防部長より表彰状と記念品が授与されました。

～地域住民と行政（県・市）との協働による～

5 土砂災害避難訓練の実施（静岡市口坂本地区）

6月5日に、静岡市口坂本地区で、土砂災害避難訓練が地域住民21名、静岡県及び静岡市の参加により行われました。

この訓練は、土石流の発生を想定し、同報無線や戸別受信機による避難情報伝達と避難所への避難訓練を行いました。

静岡県は、同地区を流れる坂本川、宇城川、亀久保川に、土石流センサーを9基、監視カメラを3基設置し、監視をしています。同地区では、平成10年の4月と7月及び平成12年9月に土石流が発生しており、土砂災害防止への地元住民の関心も非常に高く、訓練後は地域の孤立化防止対策などについて活発な意見交換が行われました。



可搬式発電機の点検

東海地区砂防災害対策講習会開催される

5月24日に、愛知県産業貿易館において本部協会と東海4県の砂防協会が共催して、「東海地区砂防災害対策講習会」を開催しました。犬山市長や国土交通省担当者を講師に招き、砂防災害対策に関する現状や、災害報告から事業申請、被災後の調査まで幅広い内容について講演が行われました。総勢178名、静岡県からは35名が参加しました。

愛知県治水砂防協会の会長（石田犬山市長）からは、昨年発生した東海豪雨の経験から災害発生時の行政のあるべき姿についての講演がありました。

また、国土交通省砂防部保全課石塚課長補佐からは河川審議会危機管理小委員会の報告に基づいて、「危機管理の現状」、「危機管理政策の展開」等についての講演がありました。

国土交通省砂防部保全課日下部地すべり係長からは、昨年12月に発行された「砂防関係事業災害対策の手引き」に基づき、災害報告、災害関連事業の申請から実績報告までの一連の事務手続きについて説明がありました。

国土交通省国土技術政策総合研究所國友主任研究官からは、昨年5月から始まった「災害実態調査」に関する説明と、被災後の調査の重要性について講演が行われました。



石田犬山市長による講演

富士山ハザードマップ中間報告される



富士山ハザードマップ作成協議会

6月12日に、国の「富士山ハザードマップ作成検討委員会」（委員長：荒牧重雄東大名誉教授）は、中間報告を発表しました。この中で、噴火可能性領域図、溶岩流の可能性マップ、「宝永噴火」の降灰分布図などが発表され、「宝永噴火」並みの大規模降灰型噴火が発生した場合は、停電・交通障害など社会全体に与える影響を加味すると、経済的な被害額が1兆1,900億円～2兆5,300億円に上るとの試算がされており、早急な防災対策の必要性をあらためて痛感しました。

～静岡市・清水市都市山麓グリーンベルトの整備～ グリーンベルト協働作業で竹林伐採

5月26日に、都市山麓グリーンベルト（砂防樹林帯）の整備を進めている清水市大内地区で、住民・ボランティアとの協働で、2回目の竹林伐採作業を行いました。

今回は大内地区自治会、森林保護ボランティアグループ及び行政関係者に加え高部小PTA、砂防ボランティアも参加しました。

参加者は前回の約2倍の73名で、杉谷津沢と天白沢の2箇所に分かれ、砂防堰堤背後地の竹林で、技術講習と伐採作業を行いました。作業後、地元の方々の作った豚汁を食べながらの意見交換会では、今後の整備のあり方等の意見・提案が数多く出されました。

今後も活動を行っていきますので、皆さんの参加をお待ちしております。



竹を伐採するボランティア

～幸田文の小説「崩れ」の書き出しの地“大谷崩れ”～
青木奈緒氏 安倍川流域・由比地すべり地を現地取材

5月27～28日に、作家幸田文氏（「崩れ」の著者）の孫にあたる作家青木奈緒氏が安倍川流域を中心に現地取材しました。

本取材は、「治水と砂防」に平成13年4月号からエッセイ「動くとき、動くもの」と題して連載されている記事の現地取材として、全国の主要な「崩れ」の地を廻っているもので、最後の取材地として本県を訪れたものです。

取材には、(社)全国治水砂防協会大久保理事長も同行され、国土交通省境静岡河川工事事務所長、県山崎砂防統括監・長江静岡土木事務所長他職員が随行し、安倍川の源頭部にあたる安倍峠や大谷崩れから静岡・清水海岸までの安倍川流域及び由比地すべり地を案内・説明し、静岡の砂防関係事業に関心を持っていただきました。



大谷崩れにて（左端が青木氏）

～NHK教育TVロケーション～
青木奈緒氏 安倍川流域・由比地すべり地を現地ロケ

7月31日水 22:00～
 NHK教育テレビ
 ETV2002にて放送予定



石部屋で安倍川餅を賞味しながら安倍川砂防を語る（中央が青木氏）

6月24～25日に、作家青木奈緒氏が安倍川流域を中心に現地ロケを行いました。

本ロケは、NHK教育TVが幸田文の小説「崩れ」に関して特集を組み、全国の「崩れ」の代表現場として本県の大谷崩れ等を現地ロケしたものです。

現地ロケには、(社)全国治水砂防協会阿部事業本部次長、国土交通省静岡河川工事事務所早川副所長、県砂防室職員が随行し、大谷崩れから安倍川下流域及び由比地すべり地を案内・説明し、静岡の砂防関係事業PRをしました。

【台湾水土保持局長が本県砂防施設を視察】

6月12～13日に、台湾行政院農業委員会水土保持局の呉局長を団長とする計6名の視察団が県内の砂防施設の視察に訪れました。

今回の視察は、(社)全国治水砂防協会を通じて日本の「土砂災害防止対策及び自然工法」に関して、6月10日から16日までの7日間で国土技術政策総合研究所、土木研究所、静岡県の砂防施設を視察するもので、本県では口坂本地区の土砂災害情報提供システム、木和田川砂防学習ゾーン、県地震防災センター、県土砂災害雨量情報システムなどを視察しました。

呉局長からは台湾の砂防行政のトップとして、土砂災害防止対策の行政上の具体的な運営に至るまで熱心な質問があるなど、国土交通省静岡河川工事事務所、砂防室、静岡土木事務所等の職員と有意義な意見交換をしました。



静岡土木事務所使沢支所前にて（前列右から2人目が呉局長）

【日韓砂防講演会・日韓職能文化交流会開催される】



主催者 全国治水砂防協会 大久保理事長の挨拶

6月21日に、日韓砂防講演会が砂防会館（東京都）で開催され、全国より約450名が参加し、静岡県からは18名が出席しました。

また、国土交通省砂防部砂防計画課火山・土石流対策官杉浦信男氏より「日本の砂防」について、大韓民国山林庁林業研院林地保全科長李天龍氏より「韓国の砂防事業と2001年江原道土石流災害」についての講演がありました。

午後には、東京の日比谷公会堂で日韓の草の根交流により両国職能人が一堂に集い、両国の一層の親善を深めることを目的に、「2002日韓職能文化交流会」が開催されました。

出席市町村：河津町、三島市、御殿場市、修善寺町、函南町、菟山町、大仁町、清水町、長泉町、小山町、富士宮市、静岡市、清水市、本川根町、相良町

わがまちの砂防

西伊豆町

西伊豆町 産業建設課長 鈴木邦男

昭和31年3月31日に仁科村と田子村が合併して現在の西伊豆町が誕生しました。

本町はリアス式海岸で知られる伊豆半島西海岸のほぼ中央に位置し、南北に海岸地帯と天城山地より発するいくつもの溪流は仁科川となって東から西に流れています。

海・山・川の自然と温泉を有することから、優れた名勝地堂ヶ島を中心に観光関連産業を発展させてきました。

美しい自然に抱かれたわがまちにあっても、河口部の平坦地を除いては概して急峻で、全域の9割が山林のため、降った雨は勢いを増して今までもいくつかの大きな災害を発生させてきました。

このため町は第4次総合計画で、災害に揺るがないしっかりとした社会基盤の整備を着実に進め、「住みよさが実感できるまち」に仕上がるよう「人づくり」を基本目標に定め、意欲に満ちた心のかようまちづくりの推進を図っています。

「花と潮騒の郷」へ皆様のお越しをお待ち申し上げますとともに、今後とも関係機関のみなさまのご指導をお願い申し上げます。



毎年7月第4土曜日開催の堂ヶ島まつり（海上花火）



一色堀坂急傾斜地

芝川町

芝川町 建設課長 清 博

芝川町は、駿河湾に注ぐ日本3大急流の一つ富士川の県内最上流部に位置し、山梨県に接する県境の町です。町内には、富士川をはじめ一級河川9本、そして山間を縫って中小の河川が流れる山と川の多い町です。また、平成13年には、今から約1万1千年前の縄文草創期の集落跡が発見された歴史の息づく町でもあります。

写真の塩出地区は、地名からもうかがえるように、その昔駿河と甲州路を結ぶ「塩の道」沿いにある集落として栄えた地区で、歴史の古さは今なお家々に残る雨落しといわれる石垣などに偲ぶことができます。地区を流れる境川は、過去氾濫を繰り返してきました。このため、塩出地区の家並みは、水害から逃れるため南に面

した山の斜面に建ち並んでお

り、長年裏山に傾斜地を背負う生活を余儀なくされてきました。

この度、地域住民の切実な声に応え、平成11年度から3か年をかけ急傾斜地崩壊対策事業を進めていただき、塩出地区の安全を確保することができました。

山梨県からの人の流れを迎える玄関口である芝川町は、山と川のまちであり、防災対策は未だ万全とはいえず道半ばの状態にあります。町民が安心して快適な生活を営むことができますよう今後とも国・県をはじめとする関係各位の一層の御支援をお願い申し上げます。



雨落とし石垣（塩出地区）



塩出急傾斜地



御前崎町

御前崎町 建設課長 山本光男

静岡県最南端の岬のまち、御前崎町は、“風がみえるまち”をテーマに町づくりを推進しており、遠州灘はマリンスポーツのメッカとして全国的に知られ、ウインドサーフィン・サーフィン・ボディボードの世界大会等が毎年のように開催されています。

また、駿河湾の入口に位置する御前崎港は、重要港湾に指定され、静岡県中西部の物流拠点として、今後の更なる発展が期待されています。

なお、港の一角には、海洋レクリエーションの拠点として、マリパーク御前崎の整備が進められ、港の見える丘・風力発電施設・海水浴場等の施設の充実に伴い多くの人が訪れています。

さて、当町の地形は、海岸沿いの低地と市街地の台地と



マリパーク内に完成した風車

で形成され、駿河湾側の斜面林のほとんどが、急傾斜地崩壊危険区域に指定されています。このため、以前から多くの崩壊防止対策工事が施工されていますが、女岩地区では、昭和45年に急傾斜地崩壊危険区域に指定されて以来、この地域一帯に連なる急傾斜地の対策工事を、平成3年まで計画的に施工しました。関係各位に深く感謝申し上げます。

これまでに、町民の生命、財産を守るため、様々な対策を講じていただき、幸い、当町は大きな土砂災害はありませんが、まだ危険箇所もあり、町民が安心して生活を送ることができるよう、今後も万全の対応をしていきたいと考えています。



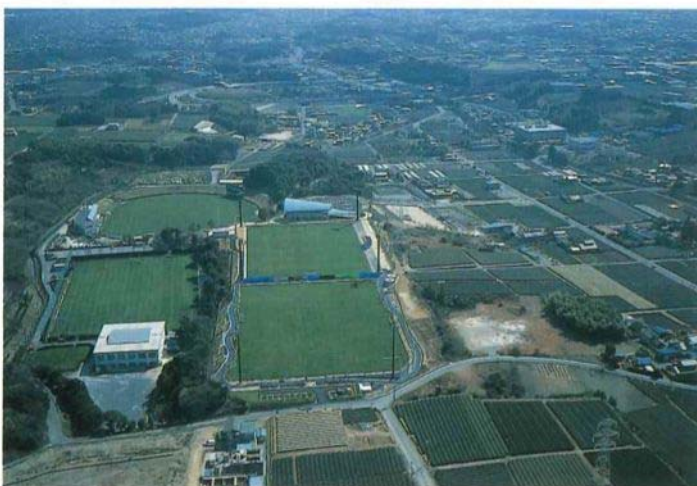
女岩急傾斜地

磐田市

磐田市 道路河川課長 酒井勇二

磐田市には、国分守跡や東海道見付宿、見付学校と歴史的にも貴重な史跡や文化財、桶ヶ谷沼や磐田原台地の斜面緑地などの豊かな自然、またジュビロ磐田や国体会場となるスポーツ交流の里「ゆめりあ」に代表されるスポーツによるまちおこしがあります。

その中でも、市内北部に位置する磐田原台地とその斜面緑地は良好な自然環境を有し、景観としても優れた場所です。砂防事業は、磐田原台地の西側、過去土砂災害の被害を受け



磐田スポーツ交流の里「ゆめりあ」と磐田大久保グラウンド



寺谷急傾斜地

た寺谷地区に、土砂災害防止のための擁壁が設置されています。

しかし、土砂災害防止だけでなく身近な緑地の保全として、磐田原台地斜面緑地を里山として環境保全や回復を図り、また自然を楽しむことができる空間づくりが必要と考え、今後の磐田市の砂防事業を進めてまいります。

今後とも関係各位の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

静岡県発行砂防関係冊子の紹介



くらしといのちを守る
～身近な災害・土砂災害～
静岡県のソフト・ハード対策を含む土砂災害防止対策の全体像を映像と音声で説明するCD-ROM
(平成14年7月発行)



さほうのおはなし
土砂災害の実例と対策について小・中学生を対象にイラストと写真でわかりやすく解説した副読本
(平成14年7月発行)



砂防だより縮刷版
昭和41年～平成13年度(No.136)までの砂防だよりの縮刷版
(平成14年3月発行)



砂防保存ファイル
今後発行される砂防だよりの保存用ファイル
(平成14年3月発行)

募集コーナー

静岡の砂防100周年記念 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文・写真の募集

対象/絵画・ポスター・作文(小・中学生) 写真(一般)
応募期間/平成14年6月1日から平成14年9月30日まで
応募先/静岡県土木部砂防室(土砂災害対策スタッフ)
TEL 054(221)3042

住民との協働による グリーンベルト・ボランティア募集

目的/土砂災害に強い砂防植樹帯の育成(竹林の伐採植樹等)
場所/清水市大内地区
時期/8月～
問い合わせ先/静岡県土木部砂防室(砂防係)
TEL 054(221)3043

富士砂防工事事務所からのお知らせ～ 富士山への手紙・絵コンクール作品募集(第7回)

対象/手紙(小学生以上)・絵(どなたでも)
応募期間/平成14年7月1日～9月16日
応募先/富士宮市教育委員会学校教育課
富士山への手紙・絵コンクール事務局
TEL 0544(22)1185



しずおか国際園芸博覧会

浜名湖花博

2004.4.8～10.11

2002年10月から
前売券発売

会期/平成16年(2004年)4月8日～10月11日(187日間)
会場/浜名湖ガーデンパーク(静岡県浜松市村楠町)
会場規模/約56ha(東京ドーム約12個分)
種別/「大阪花博」「淡路花博」に続く日本3番目の国際園芸博

テーマ 花・緑・水 ～新たな暮らしの創造～

2004年、春。豊かな自然をたたえた浜名湖の湖上に、美しい庭園の島が生まれます。それが、浜名湖花博(しずおか国際園芸博覧会「パシフィックフロラ2004」)です。

花博では、世界各国の園芸をはじめ、その歴史や文化の紹介、コンテスト、コンサートなど、魅力あるイベントが盛りだくさん。楽しいライフスタイルをつくるうえで、ヒントになる新しい発見がきっとあります。さあ、2004年、ぜひ浜名湖へお越しください。



©のたね
マスコットキャラクター
のたねと仲間たち

開催主体/財団法人静岡国際園芸博覧会協会
TEL 053-450-5850 FAX 053-455-6155
mail: mail@p-flora.com

編集後記

6月23日に静岡市の青葉イベント広場で開催された「砂防フェスティバル静岡」に参加しました。当日は、曇り空にもかかわらず子供からお年寄りまで大勢の方がクイズラリー等に参加しました。土砂災害防止に少しでも役に立てばうれしいです。

平成14年 8-10月 砂防関係の 主な行事

- 8月 中旬 静岡県支部促進要望(国土交通省・本県選出国会議員)
- 8月20日～21日 静岡の砂防100周年 砂防見学会(21日は県民の日)
- 8月22日～24日 市町村長等雲仙普賢岳現地視察(長崎県)
- 8月27日～30日 (社)日本地すべり学会研究発表会及び現地見学会(徳島県徳島市)
- 9月 1日 防災の日
- 10月 技術研修並びに研究発表会(全国地すべりがけ崩れ対策協議会)
- 10月 地すべりフォーラム

表紙写真: 清流(大沢川)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しております!皆さんの御協力をお願い申し上げます。詳しくは下記宛にお問い合わせ下さい。



第138号 発行日:平成14年7月15日
編集・発行:全国治水砂防協会静岡県支部
〒420-8601 静岡市追手町9番6号
静岡県土木部河川砂防総室砂防室内
TEL(054)221-3042 FAX(054)221-3564
E-mail: sabo@hq.pref.shizuoka.jp



古紙配合率80%再生紙を使用しています